

命を守るために

白山市立美川小学校 柴田 紗良

みなさんは、自転車に乗るときに、しっかりヘルメットをかぶっていますか。今年の4月に、自転車の青切符制度が導入されました。例えば信号無視や、運転しながらのスマホ、かささし運転などは、反則金をはらわなければいけません。それだけ今、自転車の事故が増えていて、安全な運転が重要視されているということだと思います。対象は16歳以上ですが、私たち小学生も関係ないわけではありません。また、この制度では、ヘルメットをかぶらないと反則金をとられるわけではありませんが、ヘルメット着用は努力義務となっています。「反則金をとられないからかぶらない」ではなく、「命を守るためにかぶる」ことが大切です。

私は以前、自転車に乗っているときに足がからまって、頭から落ちてこわい思いをした経験があります。でも、ヘルメットをかぶっていたおかげで、けがもなく大丈夫でした。事故にあって、命を落としてからではもうおそいです。命は大丈夫でも、脳を強く打って、からだが生動かなくなったり話ができなくなったり、記憶がすべて消えてしまったりすることもあるそうです。私たちの命は、自分だけの命ではなく、家族にとっても、まわりの人たちにとっても大切な命です。自分の大切な命を守るために、そして家族やまわりの人たちの笑顔を守るためにも、自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶりましょう。

おこられないからしてもいい、罰則がないからしてもいいという考え方ではなく、ここに集まったみなさんでいっしょに、自分たちのためにしようという意識に変えていきましょう。